

善喜山万無寺は同所にあり、本尊は阿弥陀仏の坐像にして恵心の作なり。開基万無心上人、古は法然上人草庵を
營專修念仏を修し給ふ旧跡なり。故に法然院とも号す。本堂の前に銅像の地藏尊を安置す、客殿の庭に霊水あり、銘を
善喜水といふ。此地は松風蕭然としてつねに鉦の音たへず、六時礼讃の声は幽谷に衍し、寂寥として峰の月ほがらかな
り、廬山の白蓮社ともたとへられて清浄無塵の仏界なり。「世に六字づめの念仏を鹿ヶ谷流といふは、此寺の称名を習
るなり」